

ID

入院予定表(兼看護計画書)

患者氏名 _____ 様

胃腸炎で入院される方へ

	入院日	2日～	退院日
治療	持続点滴をして、必要な水分、電解質、糖분을補給します。 嘔吐が続いている時は無理せず消化管安静につとめます。 症状、検査の結果次第では抗生剤の投与を検討します。 下痢での皮膚炎予防に軟膏を処方します。	点滴が使えなくなった場合は刺し直すことがあります。 食事開始のタイミングで整腸剤をはじめます	嘔気がおさまり水分が摂れるようになったら、持続点滴は減らし中止します。
検査	採血 (検尿) レントゲン	電解質バランスが崩れている場合は採血を頻回に行うことがあります。 病状や経過によっては検査を追加することがあります。	
日常的な検査	体温、脈拍、血圧等を測りに伺います。 体重を測ります。 便/尿の回数や量を記録します。		
食事/栄養	禁食・飲水可。飲水も不可の場合は指示が出ます。 OS1、イオン飲料、リンゴジュースをおすすめします。	症状がよくなってきたら水分から少しずつ始め、水分が摂れるようになってきたら食事を始めます。	
トイレ	室内のトイレに歩いて行けます。点滴の管に注意して下さい。 (持続点滴中は普段より尿量が増えることがあります。)		
入浴	清拭(体を蒸しタオルで拭きます) 周囲に感染を広げないよう清潔操作に気をつけます。		
安静度/運動	症状が落ち着くまではベッド上で安静にしてください。	お付き添いの方の買い物等で、乳幼児の患者さんがひとりになる際は、スタッフにひと声おかけ下さい。前後では手洗いの徹底をお願いいたします。	
説明	お世話をする保護者の方々や他の患者さんに感染を拡大しないよう別紙「胃腸炎で付き添い入院されているご家族の方」を見ながらご協力をお願いいたします。	疑問点がありましたら、何でも聞いて下さい。	病気の状態を回診時にお話します。 ★会計には1～2時間かかります。 ★退院後の内服を確認します。 ★診察券をお返しします。 ★退院後の注意事項を説明します

説明日

説明看護師氏名

上記の内容について説明を受けました。

患者氏名

家族氏名(続柄)

小児科 2020年12月1日改訂、Ver1.0